

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月20日(火)

事務事業			森林整備管理事業			担当課	農業振興課	担当係	農業用地係	管理番号	36221		
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務						
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり			根拠法令 個別計画等	森林法 深谷市鐘撞堂山ふるさとの森条例						
	小項目	3	地域の特色を生かした魅力ある景観形成										
	主要プロジェクト												
事業概要			深谷市の森林計画に基づく地域の適正な森林計画の推進及び鐘撞堂山ふるさとの森の維持管理を行うため、森林法に基づく各種届け出の受理及び倒木撤去や枯損木伐採を行うとともに、森林環境譲与税を活用し、鐘撞堂山ふるさとの森の登山道等の下草刈り・修繕等を行う事業である。										
目的 ※何のために			深谷市森林整備計画に基づく地域の適切な森林計画の推進及び鐘撞堂山ふるさとの森の維持管理及び整備										
対象 ※誰・何を対象に			地域森林計画の対象森林及び鐘撞堂山ふるさとの森										
手段 ※どのように			森林法に基づく各種届出の受理及び倒木撤去や枯損木伐採、鐘撞堂山ふるさとの森の森林整備（登山道等の下草刈りや修繕等）、ボランティアによる草刈り										
成果 ※何を求めるか			深谷市森林整備計画に基づく届出等の管理及び鐘撞堂山ふるさとの森の保全										
執行体制			■ 職員 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 □ その他（ ）										
事務事業を構成する 予算事業			区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額（円）			
			一般会計	6	農林水産業費	2	林業費	1	林業費	森林整備管理事業		20,959,424	
本事業の 主な業務			・ 森林整備計画に関する業務				・						
			・ 埼玉県緑化推進委員会会費の支出				・						
			・ 緑の募金				・						
			・ 鐘撞堂山の管理業務				・						
			・ 森林環境譲与税に関する業務				・						
			・ 森林環境譲与税基金積立				・						

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		森林整備計画に関する業務 鐘撞堂山の管理業務 森林環境譲与税に関する業務	森林整備計画に関する業務 鐘撞堂山の管理業務 森林環境譲与税に関する業務	森林整備計画に関する業務 鐘撞堂山の管理業務 森林環境譲与税に関する業務			
事業費	予算（現額）	18,239,000	21,660,000	20,224,000	23,908,000		
	決算額	15,548,786	20,959,424	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	5,709,000	4,671,700	3,630,000	3,661,000	
		一般財源	9,839,786	16,287,724	16,594,000	20,247,000	
人件費	従事職員数（人）	1.12	1.12	1.07	1.07		
	人件費相当試算※	8,693,345	8,813,904	8,770,134	8,770,134		
総事業費試算		24,242,131	29,773,328	28,994,134	32,678,134		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	ボランティア作業参加者（1 回当たり）	目標値	人	3						
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所				過去3箇年の参加者数の平均を目標とした。 / ボランティア参加人数／回数					
	実績値の算出式									
成果指標 1	管理上の苦情対応率	目標値	%	100.00	100.00					
		実績値		100.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所				確実に苦情へ対応することを目標とするため、100%とした。 / 対応数／総件数					
	実績値の算出式				4／4					
成果指標 2	管理上の事故件数	目標値	件	0.00	0					
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所				事故が起こらないことを目標にするため、0とした。 / 事故件数					
	実績値の算出式									
成果指標 3	伐採後の状況報告書提出率	目標値	%	100.00	100.00					
		実績値		40.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所				適正に処理することを目標とするため、100%とした。 / 報告書提出数／伐採届出数（報告					
	実績値の算出式				4／10					
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

(1) 事業達成度評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	鐘撞堂山ふるさとの森の管理については、ボランティアとの協働により、年2回駐車場及び霧ヶ谷津池周辺部の除草作業を実施していたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からボランティア作業を中止し、民間業者へ委託（森林環境譲与税を活用）して実施している。令和4年度についても、民間業者へ委託して年2回（7月、10月）の除草作業を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	鐘撞堂山ふるさとの森の管理上の事故はなく、苦情等については、迅速に対応できた。また、森林伐採後の状況報告書については、令和4年度末を提出期限とする8件の報告書が未提出となっているが、これは伐採等の現地作業の進捗に遅れが生じているものであり、伐採完了後には直ちに報告書を提出することを確認している。
			評価者 係長 小林 正行

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	鐘撞堂山ふるさとの森ハイキングコースの通行などに支障となる倒木や枯損木の撤去については、市職員の定期パトロールや登山者からの通報などを基に危険箇所を発見し、業者委託等により対応を行っている。 また、令和元年度から森林環境譲与税の譲与が開始されたことから、鐘撞堂山ふるさとの森の登山道等の下草刈りや修繕等に譲与税を活用しており、事業が効率的に実施されている。
			評価者 係長 小林 正行

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	森林整備管理事業	担当課	農業振興課	担当係	農業用地係	管理番号	36221
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		鐘撞堂山ふるさとの森の管理については、登山者からの通報や市職員の定期確認で倒木・枯損木を発見した場合は、業者委託等により迅速に対応している。また、令和元年度から森林環境譲与税の譲与が開始されたことから、計画的に登山道等の下草刈りや老朽化した木柵（転落防止柵）の更新を行っている状況である。今後も森林法に基づく各種届け出の受理や市の森林整備計画に基づき、適正な維持管理を行っていく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	農業振興課長 前野 武一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	森林環境譲与税基金積立金の使途については、県産木材、国産木材を利用する取り組みの検討が必要である。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	ボランティア作業参加者（1回当たり）
区分	成果指標 1	指標名	管理上の苦情対応率